

頼成自治会総会開く

自転車置き場の新設など決まる

平成二十七年年度頼成自治会総会が、夜来の雪約四十センチが新たに降り積もった二月十一日、いかり館において開催されました。

来賓として迎えた村岡市議の挨拶のあと、議長に八田一郎さん(正覚)を選出し、自転車置き場の新設を含む総額515万円余の自治会予算、223万円余の農村振興会予算とそれぞれの事業計画が審議され提案どおり可決承認されました。



議長 八田一郎さん

業計画が承認されました。改選に伴う自治委員会新役員人事が提案され、委員長林正範さん(善導)、副委員長高島尚志さん、林昇さんほか、次の方々为新役員に就任されました。

平成二十七年年度

頼成自治会役員

- 委員長 林正範
- 副委員長 林昇
- 高島尚志
- 庶務 島教夫

- 会計 齋藤 清之
- 指名委員 小森 兼重
- 福社担当 林 誓志
- 文化担当 八田 賢正
- 福祉担当 八田 浩一
- 防火管理者 林 清利
- 農地水担当 林 憲隆
- 農池水担当 林 多均
- 自主防災担当 開田 哲広
- 地下水担当 林 健司
- H.P.文化担当 林 誠

▼常会長

- 坂東 林 純次
- 北原 八田 雅史
- 川原文名 齋藤 一夫
- 公文名 島 教夫
- 西川原 高井 克政
- 正覚 武部 幹夫
- 善導 林 泰男

▼宮委員会

- 総代 林 正範
- 会長 林 利和
- 副会長 林 章夫
- 事務局 林 由治
- 八田 一 林 茂之

委員

- 林 実 八田 眞三
- 高島尚志 林 昇
- 島 高島 実
- 林 久 林 行男
- 林 好則
- 齋藤 清之

共同作業

- フアームポンド清掃 三月
- 徳方地内 当番 川原常会
- 安川第一 当番 坂東常会
- 公文名常会
- 西川原常会
- 北明常会

林神社例祭・法要

- 歳旦祭 一月 一日
- 春季例祭・鎮火祭 三月 十六日
- 金比羅例祭 六月 十五日
- 除蝗祭 七月 七日
- 秋季例祭 十一月 三日
- 新嘗祭 十一月 二十三日
- 御忌 三月 八日
- 尼講 六月 十四日
- 当番 北明 常会
- 当番 西川原 常会

般老連高齢者学級

閉講式・講演会開く



講師の野村泰則氏

平成二十六年年度の般老連高齢者学級の閉講式と記念講演が二月二十三日午後一時三十分から、般若農村改

善センターにおいて開かれました。記念講演では砺波市社会福祉協議会長の野村泰則氏の「魂(いのち)は永遠なり」と題する講話がありました。野村氏は市内野村島の桑野神社の宮司で、旧市時代助役、新市で収入役を務められました。「約四十人余りの学級員が熱心に耳を傾けました。」

ほほ笑みの土偶が出土しました

砺波・徳万頼成遺跡から



「徳万頼成(とくまんらんじょう)遺跡」の出土品の整理が進められ、このほどその中に縄文中期のものとみられる土偶が見つかりました。高さ9センチ、幅5センチで、腕や脚が欠損しているものの、胴体がつながった比較的良好な状態で妊婦をかたどっているとみられます。丸みを帯びた目や口の彫り跡がはつきり残りに見えるとところから、ほほえみの土偶と言われて、発掘調査を行った県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所は「現地では何らかの儀式が行われていた可能性もある」として分析を進めています。

光寿会定期総会

平成二十七年年度
 時 三月十日(火)
 所 頼成改善センター
 年に一度全会員が一堂に会する機会です。
 誘い合わせぜひご参加下さい。

らんじょ浮世亭だより

2月は光寿会との共催で、光寿会会員作品展を開催しました。二面をご覧ください。

次回は3月18日

(第3水曜日)です。

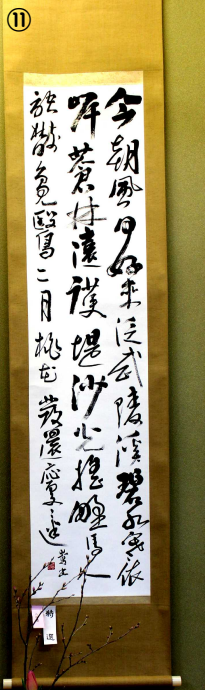
席亭(林博)の話「葉っぱのフレティ」を読んでみませんか?

葉っぱのフレティは世界中で愛読されている有名な童話です。それは子供よりむしろお年寄りによく読まれています。なぜでしょうか? いっしょに読んでみませんか。



出展者

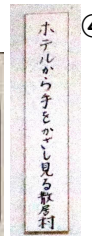
- ① 坂東 国香
- ② 齋藤 美智子
- ③ 開田 明子
- ④ 三林 外子
- ⑤ 武部 律子
- ⑥ 八田 了子
- ⑦ 林 正睦
- ⑧ 北条 春子
- ⑨ 八田 嵩子
- ⑩ 武部 琉合
- ⑪ 八武部 美由
- ⑫ 武部 美邦
- ⑬ 齋藤 喜
- ⑭ 林 志子
- ⑮ 林 敏子
- ⑯ 林 朋子
- ⑰ 林 しげ
- ⑱ 林 博
- ⑲ 林 彼
- ⑳ 林 矩
- ㉑ 林 夫
- ㉒ 林 子
- ㉓ 林 子
- ㉔ 林 子
- ㉕ 林 子
- ㉖ 林 子
- ㉗ 林 子
- ㉘ 林 子
- ㉙ 林 子
- ㉚ 林 子
- ㉛ 林 子
- ㉜ 林 子
- ㉝ 林 子
- ㉞ 林 子
- ㉟ 林 子
- ㊱ 林 子
- ㊲ 林 子
- ㊳ 林 子
- ㊴ 林 子
- ㊵ 林 子
- ㊶ 林 子
- ㊷ 林 子
- ㊸ 林 子
- ㊹ 林 子
- ㊺ 林 子
- ㊻ 林 子
- ㊼ 林 子
- ㊽ 林 子
- ㊾ 林 子
- ㊿ 林 子



多彩な作品で賑わう

第五回会員作品展

光寿会と浮世亭 共催の会員作品展が、好天に恵まれた二月十八日、いかるぎ館に於いて開催されました。書、写真、パッチワーク、絵画などのほか、今回は林要矩さんが古民家の広間の枠組みの模型を出展されるなど、会員の多彩な作品九十五点が展示され、他地区からの来館者も含め延べ六十人あまりの參觀者で終



日賑わいました。

いかるぎ

昭和五十三年に農林水産省が発足してからこの三十七年間で、今回の林芳正氏はなんと四十九代目の農林水産大臣だそうです。ということは平均在任期間が一年にも満たないということですね。

在任期間の短さもさることながら、このポストには、ともに異常な死に方をした中川一郎、昭一親子や、政治資金問題で自殺した松岡利勝、絆創膏の赤城徳彦など、その適格性に首をかしげたくなるような人物もいました。これでは日本の農政が不安定なものも無理はありません。ちなみにこの間のアメリカの農務長官は十一人だそうです。

林大臣！これからの日本の農業に希望が持てるよう腰を据えてしっかり頑張ってくださいよ。

